

株式会社ジェイコムイースト 町田・川崎局

2014 年度(平成 26 年)放送番組審議会 議事録

2014 年度放送番組審議会は、2015 年 2 月 27 日(金)にジェイコムイースト 町田・川崎局で開催された。

<放送番組審議会委員> (五十音順)

ご出席

飯塚 賢司 様 鈴木 猛 様 田中 友章 様
福原 信広 様 横田 まさお 様

ご欠席

谷 博 夫 様

事業者側から会社の現況報告及び J:COM チャンネルの報告があった。

【審議、質疑応答】(横田会長による進行)

(地域応援番組での地元 PR)

委員 地域応援番組『サタデーファイトフィーバー』では、ご当地対決の中で、800 周年を迎えた麻生区の禅寺丸柿をキャラクターの“かきまるくん”も出演しながら、いいアピールが出来たと思う。

人が集まる麻生区民祭でご当地対決ができれば、もっと見てもらえたように思う。

事業者 区民祭でも予定していたが、当日は台風が迫っており、危険を考慮して急遽、取りやめた。

(色弱者向け番組の検討、番組への投稿コメント紹介)

委員 色弱者向けにユニバーサルデザイン的な番組はあるのか。テレビから離れがちになる方たち向けの番組があってもいいのでは。

地域の FM ラジオは、メールや FAX を送ると、すぐに読んでもらえ、身近に感じている。

こうしたことで、視聴者は、チャンネルのファンになることもあるので、J:COM チャンネルでも、同じ番組内でコメントの募集、紹介があったらいい。

スポーツ番組は、地域に根差した番組が多く有難い。

事業者 色弱者向けの番組までは、制作していないが、検討材料としたい。

(自治会へのチャンネルPR、学生制作映像の放送)

委員 自治会の方々に J:COM チャンネルを認知してもらうことで、加入率が上がるのではないかと。テレビに出演することで喜ぶ方が多く、自治会同士の横のつながりで他にも広がる。

さがまちコンソーシアムでは、参加する各大学が制作する映像を J:COM チャンネルの『さがまちバンバン』で放送しているが、学生にとっていいきっかけになっている。

最近では、企業CMも一から制作しており、レベルが上がっている。きっかけを作っていただけなのは、有難い。

(コミュニティチャンネルの意義)

委員 コミュニティチャンネル放送の意義は、CATV の番組ラインナップに加え付加価値を高めることでより契約者を吸引したいのか、それとも地域密着の CSR 的に、儲かる事業とは切り離しておられるのか。

事業者 両方の目的がある。スタートにあたっては、地域への CSR が先にあり、その後、新規加入も増やす目的も付加された。

会社にとってコミュニティチャンネルは大事な存在になっている。

(若年層向け、文化・教育コンテンツの番組編成、行政情報の活用)

委員 小田急線沿線は、大学や高校が非常に多く、川崎市北部では、2030 年まで人口増加が見込まれる。この J:COM のサービス提供域は、国内で最後まで人口増加が見込まれるエリアである。

この辺りは、学生が多く若年居住者が多いエリアなので、若者を意識した番組編成が必要であろう。

地域のスポーツ番組は充実しているようだが、文化・教育的な番組の取組みがあまりされていないように思う。

行政との関係では、安心・安全の取組みとは別に、行政側は、この地域特有の課題に対応するため、J:COM の映像を介して、市民に伝わりにくい情報をうまく発信することができるはずである。

多摩区の生田緑地は、川崎市が誇る資源である。4 つの文化施設ともに首都圏でも強い競争力を持っている。麻生区も、町田市もこの部分なら負けないという文化施設があるはず。これが近くにあり、日常的に映像媒体で情報が放送されるのは、素晴らしいと思う。

地域密着でいい取組みをしている NPO 活動はじめ、文化活動、スポーツイベントなどをチャ

ンネルで拾い上げることは、主催者側、視聴者側にとってもメリットになる。

行政との取組みとしては、多摩区で、防災のための五反田川放水路が近く完成するが、使用する前に J:COM でも映像取材をしたらいい。何故、こういった施設を作っているのか、気象変動や宅地化に伴う保水力の低下など、地域の課題と防災の取組みを映像で取材すると面白い。こうしたものをうまく取材する仕組みが必要である。

J:COM でも地域の取材力、聞き込み力を上げて欲しい。

事業者 行政からは随時、情報を頂いているが、今年 4 月より各局で地域担当を配置し、各地を隈なく回りながら情報収集力を上げていくことを図っていきたい。

(地域の文化、歴史の継承)

委員 地域の歴史、文化を知っている人が少なくなっているが、語れる人が元気なうちに映像で残して欲しい。

(オーラル・ヒストリー番組化)

委員 オーラル・ヒストリー番組を作ったら面白い。日本は、急激な都市化、近代化を体験しており、体験者が語るインタビュー映像が一番、力のあるものになるはずである。

以上